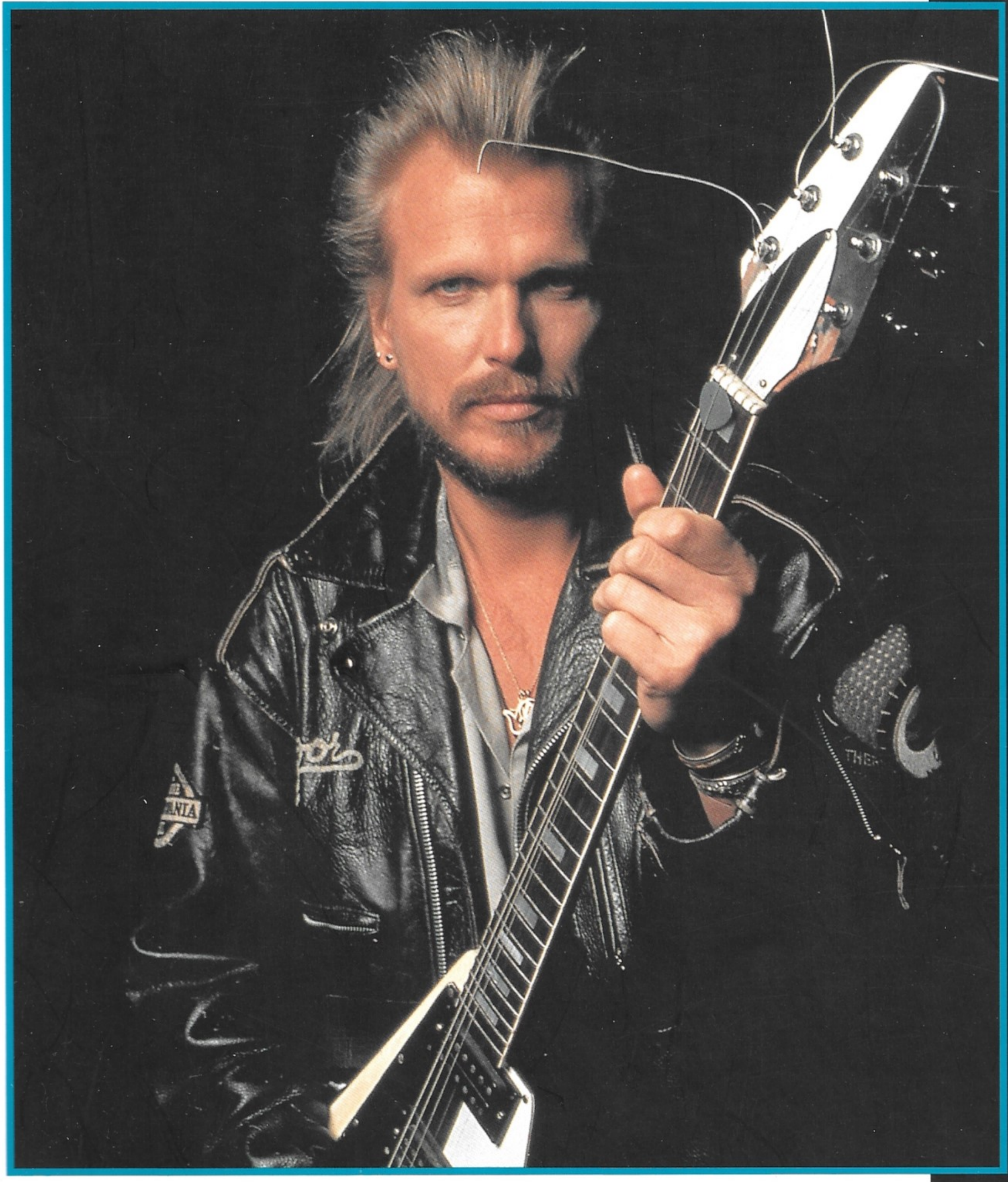
# Super Guitarist

# MICHAEL SCHENKER



- ROCK BOTTOM ● LIPSTICK TRACES
- ONLY YOU CAN ROCK ME ● DOCTOR, DOCTOR(LIVE)
- LIGHTS OUT(LIVE) ● LET IT ROLL(LIVE)
- ARMED AND READY ● CRY FOR THE NATIONS
- INTO THE ARENA ● DESERT SONG
- ROCK MY NIGHTS AWAY ● CAPTAIN NEMO

SHINKO MUSIC PUB.CO.,LTD.

# CONTENTS

# ROCK BOTTOM

ロック・ボトム

Words & Music by Phillip Mogg and Michael Schenker

マイケルがUFOに加入して最初に作ったアルバム『現象』('74年発表)に収録されている、ロック史上に残る名曲。この曲はUFO時代はもちろん、MSG時代でもステージで必ずプレイされていた重要ナンバー。彼を志すキッズ達がこの曲を弾かないで通ることは許されない(!?)だろう。イントロのリフはマイケルの作品中、最も有名なものの一つであり、傑作と言えるもの。1小節目から早速スキッピングが出てくる。6弦のE音をしっかり出すのがポイントなので、巧くできないからと言っておろそかにしないように。しかもAメロのバックでも引き続き弾かなければならないので、ピッキングを正確にして、リズムが乱れないように気をつけたい。基本的にはダウン・ピッキングのみで弾き切れるだろう。空振りしてしまったり、よけいな弦をヒッティングしてしまわないように、遅いテンポで十分に練習し、それが確実にプレイできるようになったらテンポをあげてやるようにしよう。気持ちミュートをしつつ、ピッキング・ハーモニクスを出す感じにすると雰囲気が出て良いだろう。中間部からは彼のメロディー・センスの良さを堪能できるギター・ソロ。Emのワン・コードによるソロだが、30小節目から突然Bmを含む2コードの進行となる。今となってはそれほど難しいテクニックは出てこないが、確実なピッキングとフィンガリング、ビブラートやチョーキングだけでこれほどの素晴らしいプレイを生み出すマイケルの魅力を、十分に感じられる曲と言えるだろう。尚、原曲はチューニングが4分の1音ほど高くなっているので、CDに合わせて弾くときは注意しよう。

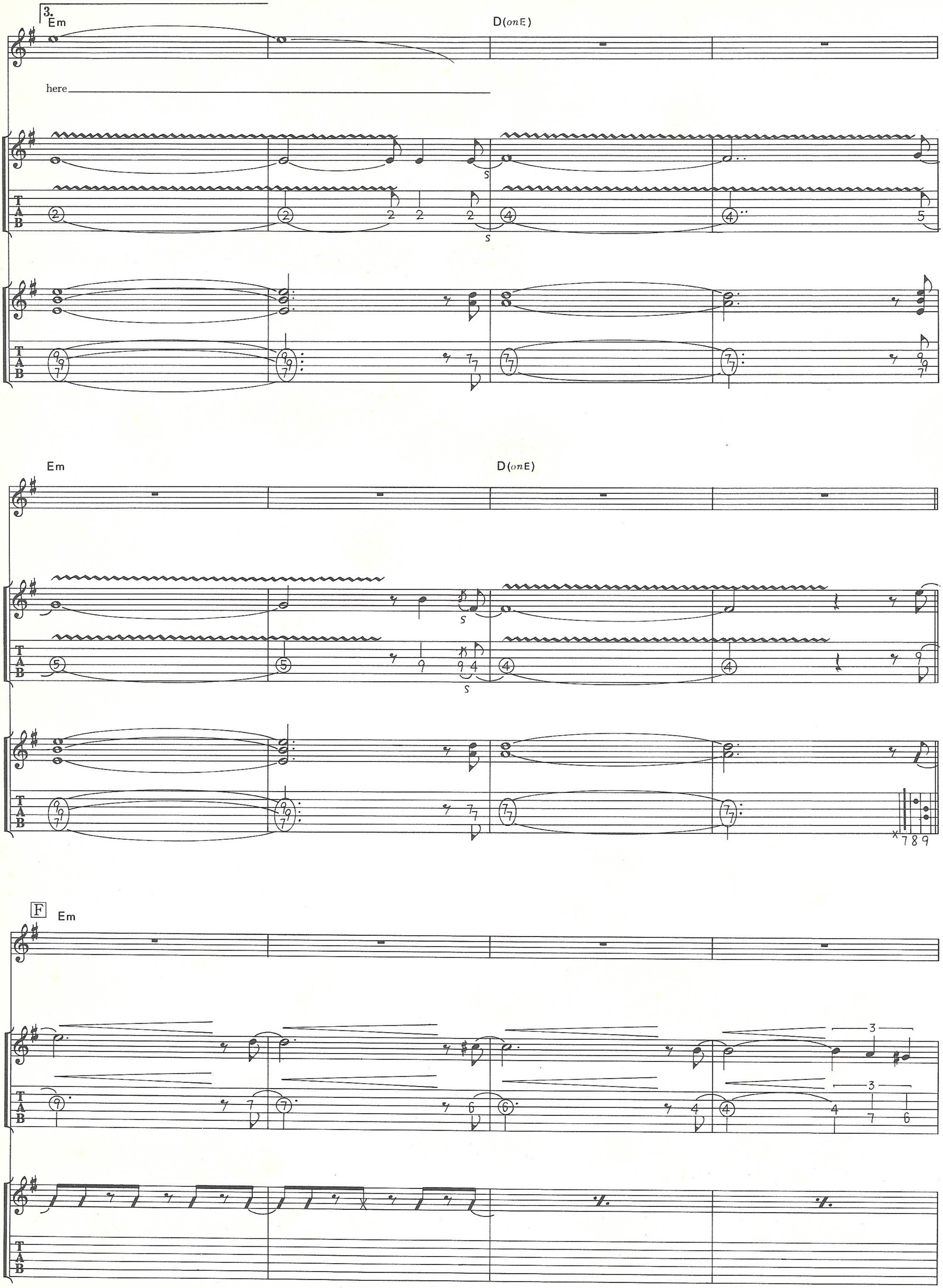





A
Em
1.3.) Some are tun - ed to na - ture's queer know what I mean
2.) Sha - dow work is clos - in' in above lapse in your stream
T
A
B
Em
Twen - ty one a lone one You can see the num - bers run
Lu - ci - fer gone walk - in' down free to meet
Em
Now you look so peace - ful Ly - in' there a - sleep
Minutes pass so slow - ly By the hands on your clock
Em
With the wings of god a - bove you Be - fore the spir - its meet
Heaven don't just know where where you can knock
B
Em D(onE) Em D(onE) Em D(onE) Em C B A D E
Rock bot - tom Rock bot - tom Rock bot - tom


Em D(onE) Em D(onE) Em D(onE) Em
to C B A D E
Rock bot - tom Rock bot - tom Rock bot - tom
C
Em
1.
Em


2.
Em
D Em
E C
B
Em
G
With all dark - ness closin' in
Just once we kiss on your clay cold lips
Where do we go where do we go
C
B
1.2.
Em
will the light re - veal your soul
I know sleep you'll never know
where do we go from


3.
Em
D(onE)
here
Em
D(onE)
F
Em

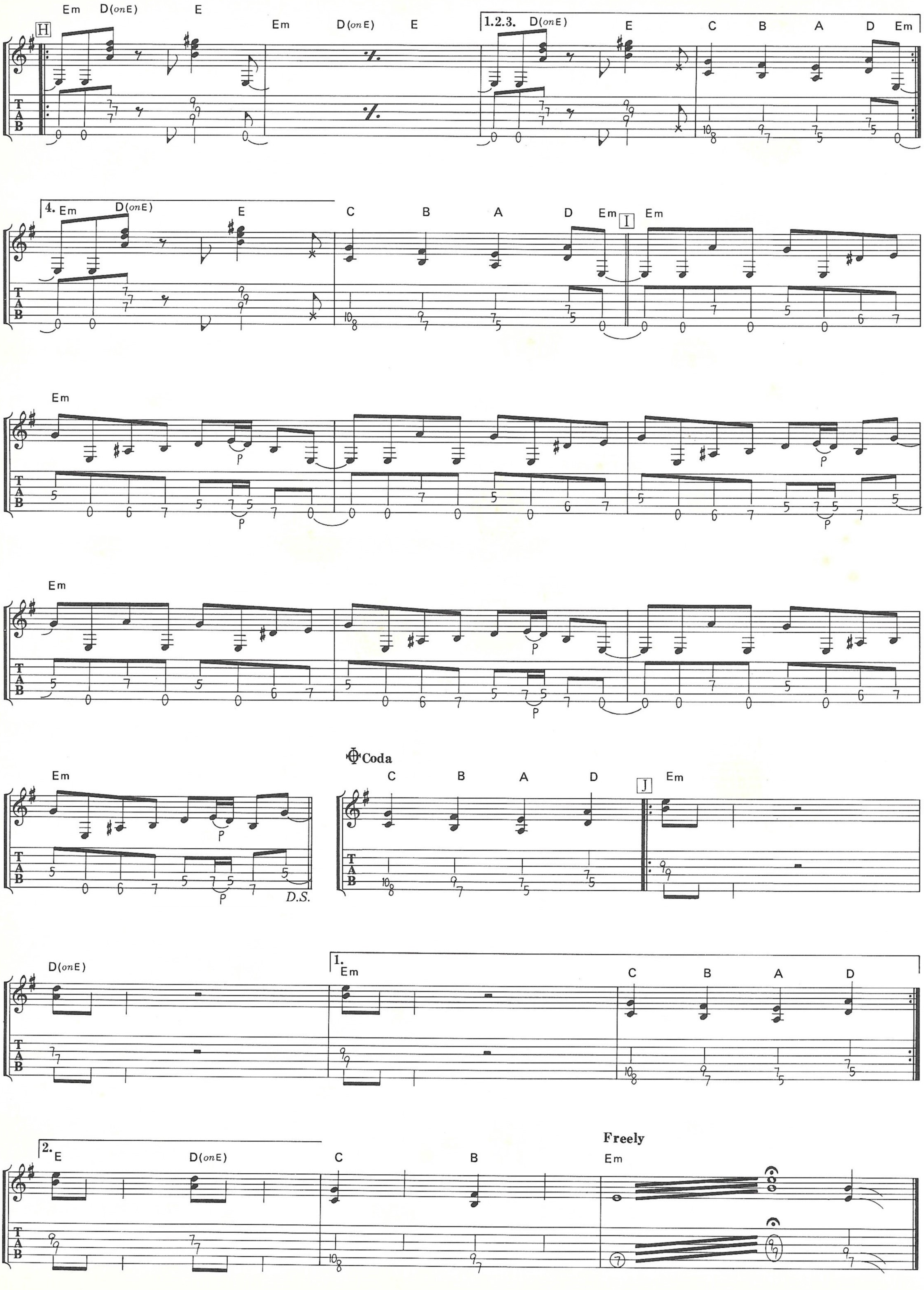

Em
Em
Em
Em


Em
H
Em
H
H P
Em
Bm
H.C
C
Em
Bm
Em
H.C
Bm
T
A
B


Bm
Em
Bm
Em
Em
8va
Em


G
C B Em G
C B Em
C B Em G
C B Em


C B Em G
C B Em
8va
C B Em G
C B Em


H
Em D(onE) E
Em D(onE) E
1.2.3. D(onE) E
C B A D Em
4. Em D(onE) E
C B A D Em
I
Em
Em
Em
Coda
C B A D
J
Em
D.S.
D(onE)
1. Em
C B A D
2. E D(onE)
C B
Freely
Em

4

# LIPSTICK TRACES

リップスティック・トレーシス

Music by Michael Schenker

マイケル・シェンカーにしては珍しいタイプの曲。曲の構成も非常にシンプルなパターンだ。上段がE・ギター、下段がA・ギターなのだが、途中からハモリのギター２がE・ギターで登場する。基本的にA・ギターがバッキングアルペジオでE・ギターがメロディーとなっている。まずアタマの弱起の部分はやさしくなめらかに[A]へと入っていく。[A]にかかるチョーキングも語りかけるようにチョークアップ、チョークダウンすると雰囲気が出る。ビブラートのスピード、弦を揺らす幅も表現するとより一層プレイに深みが出る。特に[A]では語りかけるようにメロディーを唄うような感じで演奏すると[B]に対していい世界観がでる。[B]からはマイナーチック な世界に突入する。このイメージを大事にチョーキング、ビブラート等を表現していくと[A]とはまた違ったプレイができるであろう。A・ギターのバッキングアルペジオだが、基本的にコードフォームを押さえて１音１音正確に弦をピッキングする。音のダイナミクスも１音１音つけ、アルペジオでサウンド全体の広がりを付けるようにしたい。[A]の３小節目は力強いピッキングで、はねた感じにならないようにリズムキープを心掛けたい。[B]の３小節目、４小節目は、E・ギターのメロディー同様バンドでやる時には、他のベース、ドラム、メロディーと、きっちりリズムを合わせ、サウンド全体のアクセントになるように心掛けてプレイしたい。[D]からのメロディーはハモリのギター２が入ってくる。ギター１とチョーキングなどのリズムを合わせること。最後はリタルダンドのテンポ変化に気を付けてプレイしよう。






G Am E7 sus4 E C A Dm G
B
E A Dm G E Am E Am
C
C E Am Dm
G C E Am


Dm G Am
< ( ) = E. Guitar 2 >
D
E7 sus4 E C A Dm G
E A Dm G E Am
Am E Am E Am
rit.

# ONLY YOU CAN ROCK ME

オンリー・ユー・キャン・ロック・ミー

Words & Music by Michael Schenker, Frederick Way and Phillip Mogg

'78年にリリースされた『宇宙征服』の冒頭を飾っているナンバー。UFOの数ある名曲の中で、メジャー調のこの曲もまたマイケル・ファンの中で人気の高い曲だ。シンプルでありながらもキャッチーなリフは、ギターを手にしたらつい弾いてみたくなるほど魅力的なもの。テクニック的に問題のある箇所はないが、歯切れよく弾かないと、巧くニュアンスを再現できないので気をつけよう。まずイントロのリフだが、1、2、4小節目のパターン（つまりコードEのところ）は人差し指で7フレットを押さえ、薬指で9フレットの2～4弦を同時にベタッと押さえるEコードのフォームが基本形。なお、人差し指で押さえるのは1～5弦だけで、6弦は開放しておくこと。そうすると一番最初の音のように開放の低いE音が鳴らせて、サウンドが太くなるわけだ。このリフはあまり軽快にプレイしないように。ややリズムをうしろに感じて、どっしりとしたフィーリングを出したいところだ。ギター・ソロは起承転結がしっかりと組み立てられた、完成されたものとなっている。実際のライヴでも、ソロに入る前からマイケルへの歓声が湧き始めるほどで、この曲のハイライトと言える。ギタリストとしては何より一番おいしいところだろう。ここでは、最初のグリスからスライドして3弦13フレットのG♯音をいかに巧く出すかが最大のポイントだ。これをクリアすれば、後はテクニック的に難しいところはないので、感情を込めながらしっかりとメロディーを弾いていきたい。ちなみにライヴ版『UFOライヴ』では最後のひとまわりのみスタジオ版と違ったラインを弾いているが、そちらも聴いてみてはいかがだろうか。




E B A E
I've had e-nough now of school stuff now You ain't with us then it's just bad news
Just like a jewel shines in the night she burns so hot out under the street light
B
A D G C G A D G C G
1.2.3.) On-ly you can rock me rock me Come on back now do it a-gain
A D G C G D B
On-ly you can rock me rock me kick-in' off just like a hur-ri-cane
T
A
B
H
P


C
E
A
F#m
B
1.3.) We can't wait from day to day
Cause we've got some - thing to say
2.) We are here and there's no end
We'll keep on coming a - gain
E
A
F#m
to Φ
1.
B
1.) We can't wait from day to day
cause we've got some - thing to say
2.3.) We are here and there's no end
We'll
2.
B
D
C
just keep (on) com - in' a - gain


C
D
D
E
E
E
E
A
F#m
B
E
H P
H P


A
F#m
B
E
A
F#m
B
E
A
F#m
B
C
F
C
D
D.C.


Coda
B
F
E
A
F#m
keep on com - in' a - gain We can't wait from day to day cause
B
E
A
F#m
we've got some-thing to say We are here and there's no end We'll
B
C
F C D E
keep on com - in' a - gain

# DOCTOR, DOCTOR

ドクター・ドクター

Words & Music by Phillip Mogg and Michael Schenker

途中でテンポが変わったりリズムが変わったりするドラマチックな構成の曲。ここではアルバム『UFOライヴ』に収録されているLiveヴァージョンで採譜してある。イントロ１はチョーキング、ビブラート、スライド等をうまく使い表現したい。(音のダイナミクスにも注意!）イントロ２からディストーションのバッキング・ギターが入ってくる。Ａからはイントロよりもテンポが速くなるのと、リズムがシャッフルに変わるためリズムキープがポイント。きっかけとしてはイントロ２の８小節目から雰囲気が変わるので、ここからテンポチェンジと考えていいだろう。ギター１の方は２本の弦を同時に鳴らすのがポイント。特に２本ともチョーキングするのはかなりの難しさ。(ひたすら練習あるのみ!）ギター２はピッキングする方の手（右利きの人は右手）をブリッジに軽くのせてミュート。ピッキングはすべてダウンピッキングで力強く。特にシャッフル独特のリズムの気持ちよさ（ミュートの加減）を出せるようプレイしたい。ＢはＡのバッキングの流れをそのままに。Ｃではシンコペーションに注意し、ザツにならないよう心掛けたい。ＤはＡと同様に２本の弦をチョーキングという難しいプレイが出てくる。８小節目と16、17、18小節目に出てくる２拍３連フレーズはベース、ドラムとリズムユニゾンなので注意しプレイしたい。ラストの１小節間は最後の見せ場。マイナーペンタトニックスケール＋αで演奏されている。この１小節間はフリーテンポになるが16分音符の連続フレーズの後の８分フレーズなど、スピードの変化とピッキングのダイナミクスを上手く使ってプレイしたい。(結構勢いが大切になってくる）この曲全体を通してバッキングはベースとユニゾンが多いので、バンドでやる時にはしっかり合わせてプレイするように心掛けたい。






Intro ②
Dm
B♭
C
Dm
Dm
B♭
F
G
A
Tempo-II
A
Dm
B♭
F
C
Dm
B♭
F


Gm A B Dm B♭ F
Doc-tor doc-tor, please Don't you know I'm
Doc-tor doc-tor, please Don't you know I
Doc-tor doc-tor, please Don't you know I'm
C Dm B♭ F
go-in' fast Doc-tor doc-tor, please, Don't you know I
just can't last Doc-tor doc-tor, please, Don't you know I'm
go-in' fast Doc-tor doc-tor, please, Don't you know I
A Dm B♭ F
just can't last She walked up to me and real-ly stole
go-in' fast It's on-ly just a mo-ment She's turn-in'
just can't last But you look so an-gry As I crawled a-
T
A
B


C
Dm
B♭
my heart
And then she start - ed
pa - ra - noid
That's not a si - tu - a - tion
- cross your floor
She's got the strain
2x
F
G
A
Dm
B♭
C
2xTacet
to take my
bo - dy a - part
fo - r a
ner - vous boy
Oh I can't
take a - ny more
1.3.) Liv - in', lov - in',
C
F
G
A
Dm
I'm on the run
So far a - way from you


Dm B♭ C F
1.2.
G A Dm
(2x Tacet)
Liv - in' lov - in' I'm on the run So far a - way from you
3.
G A Dm
D
Dm
So far a - way from you
B♭ F C


Dm
B♭
F
1.
2.
G
A
G
A
N.C.
Freely
Dm

# LIGHTS OUT

ライツ・アウト

Words & Music by Michael Schenker, Phillip Mogg, Andrew Parker, and Frederick Way

こちらもLiveヴァージョン。D.S.が①、②、③まであったり、Codaも①、②、③まであったりして、ちょっと複雑な譜面の進行になってしまったが(都合上このようになった)、曲の作りとしては、至ってシンプルな構成。イントロのギター2のバッキングは、この曲のメインのリフなのでしっかり弾けるようにしたい。結構テンポが速いので、しっかりリズムキープできるように。オルタネイトピッキングが正確にできれば問題ないだろう。Ⓐのリズムパターンは基本的にイントロの延長である。ポイントとしては、3拍目の8分休符をしっかり休むこと。これによってこのリフに表現力が増す。またリフの合間に(Ⓐ16小節目)絶妙なオブリガードが入っているが、これもリフのスピード感を殺さないようにきっちりと決めたい。フレーズ的にはオーソドックスなペンタトニックフレーズである。右手と左手をバランスよく、すべてピッキングで弾ききろう。Ⓑはイントロパターンと並んでこの曲の柱となっているリズムパターン。ギター2のリズムは一見簡単そうだが、イントロ、Ⓐ同様ベースとのユニゾンパターンなので、音の長さやリズムをきっちり合わせたい。ややブリッジミュートぎみにするとノリが出しやすい。また2小節目から3小節目にかけてのシンコペーションなど、随所にシンコペーションが出てくるので突っ込んだりモタったりしないよう注意が必要だ。4小節目の3拍目からのスライドも途中で音が切れたりしないようにクールに決めたい。Ⓒは最初のギターソロだが、コードがF♯mのみ。力強くスピード感あるソロなだけにハンマリング・オン、プリング・オフもきっちりとリズムよく決めたい。Ⓘからはワウがかけられている。5小節目あたりからはシンプルなリズムを前面に「これでもかっ」というノリで。Ⓙのエンディングはビシッときめて終わりたい。4小節目の8分音符は1音1音はっきりと。






F#m
E (on F#)
Back to the fun
No more nice time,
From your thoughts
Under your feet
I'm not goin'
black boy shoe shine
what's been taught
the grass is gro-win'
A(on F#)
B(on F#)
E
May-be now your time has come
High in the sky dreams
And now it shows
Time we say good-bye
2×
C
E
F#m
1.
2. F#m


B
A
E
B
Lights out lights out in Lon - don
3x ( Chi - ca - go )
Hold on tight till
3x
8va
(8va)
B
A
G
B
the end
Bet - ter now you know we'll ne - ver
Wait 'til to - mor -
- - - row
Lights out lights out in Lon - don
Hold on tight till


B
A
G
①②③ to Φ
the end
God knows when I'm com - in' on my own
F#m
E(onF#)
F#m
E(onF#)
D.S. ①
Φ Coda ①
C
F#m
8va


F#m
F#m
F#m
F#m
D
C#
F#
C#


C#
F#
C#
B
(8va)
D.S. ②
Coda ②
F#m
E(on F#)
F#m
E(on F#)
D.S. ③
Coda ③
F#m
Feed Back
Feed Back


E
C#
F#
C#
8va
C#
F#
C#
C#
B
F
A
A
E
B


G
C♯
F♯
C♯
C♯
F♯
C♯
C♯
B
H
A
A
E
B
8va


I
C#
F#
C#
C#
F#
C#
C#
B
J
A
A
E
B
F#
C#

# LET IT ROLL

レット・イット・ロール

Words & Music by Michael Schenker and Phillip Mogg

この曲も「ドクター・ドクター」「ライツ・アウト」同様、『UFOライヴ』に収録されているヴァージョンで、中間部のギター・ソロはスタジオ版（『フォース・イット』収録）を基本にした、ちょっとした組曲のような雰囲気をもったアレンジになっている。まず、イントロは典型的な２拍３連を中心としたリズムで構成されている。慣れないと非常にキープしづらいと思うが、練習してキッチリおさえたいリズムだ。（このリズム形態は、曲のメインとなる多くのセクションで使われている。）ピッキングはオルタネイトだが、たまにアップ･ピッキングでコードを弾くことになるので注意。もちろん６弦開放のＥ音はミュートをしよう。Ａは、リズム的にはイントロの流れそのまま。２拍目からのルート弾きは、ブリッジに軽く手をのせてミュートして弾くといいグルーブが出せる。最初のギター・ソロはC♯ペンタトニックを使ったもの。フレーズの速いところとゆったりしたところが混ざっているので、チョーキングのスピード、音程、音の長さ（音価）、アクセントに注意しつつスリリングなソロを演奏したい。Ｃからはリズムがシャッフルからイーブンに変わるので、大きなリズムとしてとらえたい。ここを弾くときはギターのボリュームを少し下げて、歪みを少し押さえてみよう。エフェクターの切り替えではないところがポイント。このようなスローなフレーズは、人によって弾きやすいポジションがあると思うので、譜面のとおりの運指でなくてもいいだろう。Ｄのキメはすべてダウンピッキングで弾かれている。オブリガードはキメから流れてキメに流す、といった感じでさらっと弾きたい。Ｅからアタマのリズムに戻り、ＦではＢと同じキメフレーズからエンディングをむかえる。きちっとキメて、かっこよくエンディングをしめよう。




E D E
where we'd all go
right o - ver you
When our loves were ra - zor sharp
Because I road race now And I
E A E
And we'd all let it roll Let it roll
al - ways win it through roll Let it roll
let it roll let it roll
let it roll let it roll
E D to Φ 1. E
Let it roll She'd skid on and we'd real - ly
Let it roll
E D C♯ B
lay it down Layin' it out, let it roll
C♯ B C♯ B
H.C
H P
T
A
B


C♯
B
2. E
She'd skid on ___ and we'd real - ly
E
D
C♯
lay it down ___ Layin' it out, let it roll
B D
D
C Bm
A
Bm
A
Bm
P.H


A Bm A Bm A
Bm A Bm A Bm
A Bm A Bm
A Bm A Bm
A Bm A Bm A
Bm A Bm A
Bm A Bm A


Bm A Bm A Bm
A Bm A Bm
A Bm A D E F#
N.C. D E N.C. E F#
N.C. D E N.C. E F#
N.C. D E N.C. E F#
N.C. D E N.C. D


E
C♯
B
C♯
B
D.S.
Coda
E
D
She'd skid on
and we'd real - ly
lay it down
Layin' it out,
let it roll
C♯
F
D
D
D

# ARMED AND READY

アームド・アンド・レディ

Words & Music by Michael Schenker and Gary Barden

『神』の１曲目に収録されているこの曲は、ライヴの１曲目に打ってつけのナンバーだ。冒頭リフのポジションは、５弦を人差し指、４弦を薬指、３弦を小指で押さえる。２、４小節目２拍ウラ（コードAのところ）は、３、４弦を人差し指のハラで同時に押さえると直後のプレイがやりやすい。むろんピッキングはすべてダウンで、力強さを忘れないように。また、右手のハラで６弦をミュート気味にしておけば、６弦開放音がリズミカルに鳴らせるだろう。バッキングは基本的に低音弦を使う、いわゆるパワー・コードが使われている。リズムに忠実にプレイするよりは、少し突っ込み気味の方が雰囲気を出しやすいだろう。ソロ・パートだが、まず最大の難所は２まわり目のEマイナー・ペンタトニックを使ったライン。特に２弦の17フレットを１音半チョーキングするのは、我々日本人にとって物理的にキツイところがある。これは手の大きいマイケルが、ミディアム・スケールのフライングVを使っているからこそのワザとも言えるが、このニュアンスは何がなんでも失いたくない。ひたすら努力あるのみだ。（本人も17フレットをチョーキングするときは、12フレットから人差し指を離しているようだ）。彼はほとんどのフレーズを人差し指、中指、薬指の３つの指でこなしている。この場合、２弦15フレットを中指でチョーキングしている。中指を鍛えればフィンガリングにも余裕が出てくるので、この曲で鍛練するのもまた良し、だろう。後半の５弦から４弦にかけての上昇フレーズは音を３つずつ区切り、下降するところは６、６と部分部分に分けて、慣れてからつなげて弾けるように練習しよう。バックのコード進行は歌メロ１まわりと同じなので、曲を聴きながらソロに没頭するのも良い練習方法だろう。




E D A E D A
A
Are you
A
E D A E D A
1.3.) high to - night Are you feel - in' right Cos I
2.) ver - drive And I feel a - live
E D A E D A
need you now like I nev - er did be - fore Is it
God every - thing I need and that ain't all Got a thing
E D A E D A
hard e - nough Is it loud e - nough Cos if you
to do I wanna do for you



E D A E D A
don't ap - prove You can use the door
I wanna see you jump like hell when I call
B
C
Ah
D
1.
Armed and read - y I got a gun - sight trained on
Armed and read - y I got a spot
E D A E D A
you
A
2.
D D♯
E
I'm in o - light trained on
sight trained on you you you
E D E D
you you


C
C
D
Woo
C
Armed and read - y
don't let me down to -
B
Ah
- night
to
B
C
C♯
D
D♯
Ah


D
E
E. Guitar
8va
D
A
E
D
A


E
C
D
D
D♯
E
D
E
E
D
C
C
D


F
E
D
A
E
All night
D
A
Are you high
D.S.
Coda
G
B
To - night
Are you high to - night
Is it hard e - nough


To - night
B
Are you feel - in' right
Is it loud enough
To - night
B
Are you high
D
A
N.C.
E

# CRY FOR THE NATIONS

クライ・フォー・ザ・ネイションズ

Words & Music by Michael Schenker and Gary Barden

同じく『神』の２曲目に収録されているこの曲は、哀愁を帯びたイントロのキーボードから激しいリフが入ってくる展開がまず心に残る。(ちなみにライヴではキーボードは省略されているアレンジになっている。) ギターのポイントは、イントロ２のリズム・パターンと、Ⓐの16分音符バッキング。バッキングは、かなり幅ひろいポジション移動をこなすことができるかどうかがポイントだ。譜面では16分になっていて複雑そうに見えるが、思ったほどテンポは速くないので、そう苦労することはないハズ。５弦開放のA音を刻むリズムを、まずはちゃんと弾けるようにすること。右手のハラでミュート気味にし、刻みのツブがハッキリと出るようにしよう。このA音の上に、２小節単位の後半でストロークのオカズをのせるようにするわけだが、その際には右手のミュートを外さないとならない。この右手の動きがⒶのプレイのポイントだろう。ソロについては、出だしの１弦22フレットのチョーキングが最初のポイント。自分なりに工夫して表情をつけると良いだろう。ちなみに、マイケルは中指でチョーキングをしていることが多く、ここのフレーズも中指でこなしている。フィンガリングまで彼に近づきたい人はチャレンジしてみては。その他は基本的にＡマイナー・ペンタトニックを使った、ロック王道フレーズとなっている。ひとつひとつじっくりと練習すれば、必ず自分のものに出来るだろう。




A
Am
(Am7)
Am
(Am7(11))
A time of fear so long a - go Lived a man in Sa - lon
A flash of light fills the night and chills the blood in his veins
Am
(G(on A))
Am
G(on A)
in his dark and ma - gic room he gazed on times to come
will the power poss - ess his mind soul in chains
G
F
E
All is then re - vealed and vis - ions on wa - ter speak true
All is then re - vealed and tears that he shed were for you
8va


B
Am C G D Am C G D
Cry for the nat - ions
Am C G D Am
1. C G D
Cry for the nat - ions
(8va)
2. C G D
C
C G D
Bat - tles of kings and of fools and


C G D C G D
chang - es in ways he once knew as pa - ges of days fade a - way he's
C G
lost in time
D Am7
8va
Am7
(8va)


Am7
Am7
Am7
E
D
Dsus4
D
F
G


Am7
D
Dsus4
D
F
G
F
Am
Ah
D
Am
Ah
D


Am D Am D
Ooh Cry Ah
1H.C C U H.U H.U Pick Scratch
G
Am C G D Am C G D
Cry Woo
Cry for the nat - ions
M M M M
Am C G D Am C G D
Cry Woo
Cry for the nat - ions


Am C G D Am C G D
Cry
Woo
Cry for the nat - ions
Am C G D Am C G D
Cry
Woo
Cry for the na - tions
8va
H
Am C G D Am C G D
Cry
Cry
Cry
Cry


Am
C G D
Am
Cry
Cry
C G D
Am
C G D
Cry
(8va)
Cry
Am
C G D
Am
Cry
Cry


C G D
Am
C G D
Cry
Cry
Cry
Am
C G D
Am
Cry
Cry
C G D
Am
C G D
Cry
Cry
F.O.

# INTO THE ARENA

イントゥ・ジ・アリーナ

Music by Michael Schenker

マイケルのインスト・ナンバーで１、２を争うほど人気があり、完成度の高いナンバーで、MSG時代はほとんどのステージで演奏されていた。この曲はいわゆる「３連ノリ」のリズムが特徴となっているが、「ダッダ・ダッダ・ダッダ.....」といった古めのブルースのようなシャッフル的なノリというよりは、「ドドドダドド・ドドドダドド.....」というニュアンスに近い。Ａのギター・リフのポイントは、右手のピッキング。すべてダウンでできればそれにこしたことはないが、結構テンポが速いのでちょっとキツイかも。ダウンでできないときは、オルタネイト・ピッキングになるが左手のフィンガリングとの兼ね合いが３連符の連続ということもあり、案外難しい。遅いテンポで確かめるように練習し、それが正確にこなせるようになったら、徐々に原曲の速さに近づけていこう。３連のリフの後にはソロが入ってくるが、最初から最後までを一気に練習するよりは、部分部分に分けて練習する方がいいだろう。サウンド的には、ワウ・ペダルをゆっくりと踏みながらトーンに変化をつけてみると近くなる。２まわり目のトリルをしながら下降していくフレーズは、ワザこそないものの実際演ってみるとそのスピードの速さを実感するだろう。どうしても出来ないときは、アームを使ってごまかす方法もある。その後のフレーズはスライドを混ぜた、指板を幅広く使うもの。ここにもポジション移動の確実さが要求されるので、注意したいところ。その後のメロディー部分はGmに転調。キメの所のアルペジオっぽいフレーズが最大の難所だ。ここは手に染み込むくらい憶えさせて、何度も練習するのがマスターへの道だろう。ここが出来れば後はいかに彼の“泣き”に近づけるかがポイント。譜面には表しきれない部分なだけに、何度もCDを聴いてニュアンスをつかんで欲しい。






Em
to Φ
1.
2.
Em
B
B
B
B
C
D


D
Coda
Em
D.S.
Gliss. Down
8va
1H.C


E
Em
A
G
Em
1.
A
2.
Em
A
Neck Bend
Neck Bend
F
G
H
I
Gm(on B♭)
G(on B)
Cm
A♭
Cm(on G)


F7
B♭
G(on B)
Cm
F7
B♭
G(on B)
Cm
F7
D
J
Gm
E♭
F
B♭
Gm
E♭
F
D
Gm
E♭
F
B♭
Gm
E♭
F
TAB


D
K
Gm
D
B♭
C
E♭
D
G
D
B♭
C
E♭
D
Tempo-II
L
8va
G
E♭
F
B♭
Gm
E♭


F
D
Gm
E♭
F
B♭
Gm
E♭
D
Freely
Gm
Gm
Gm
Pick Scratch

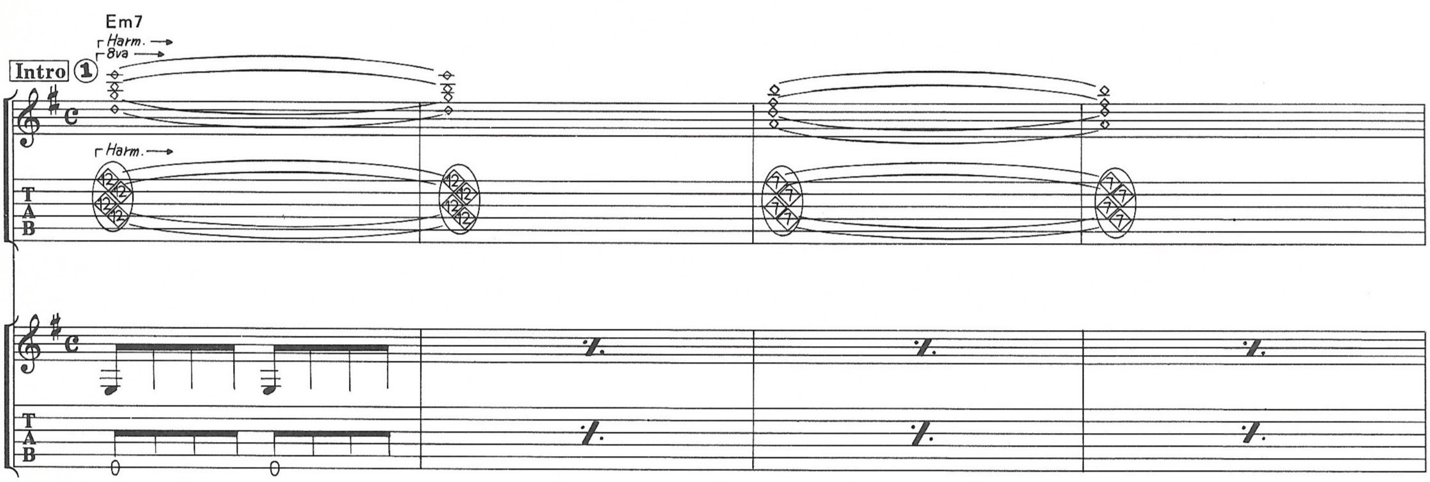
# DESERT SONG

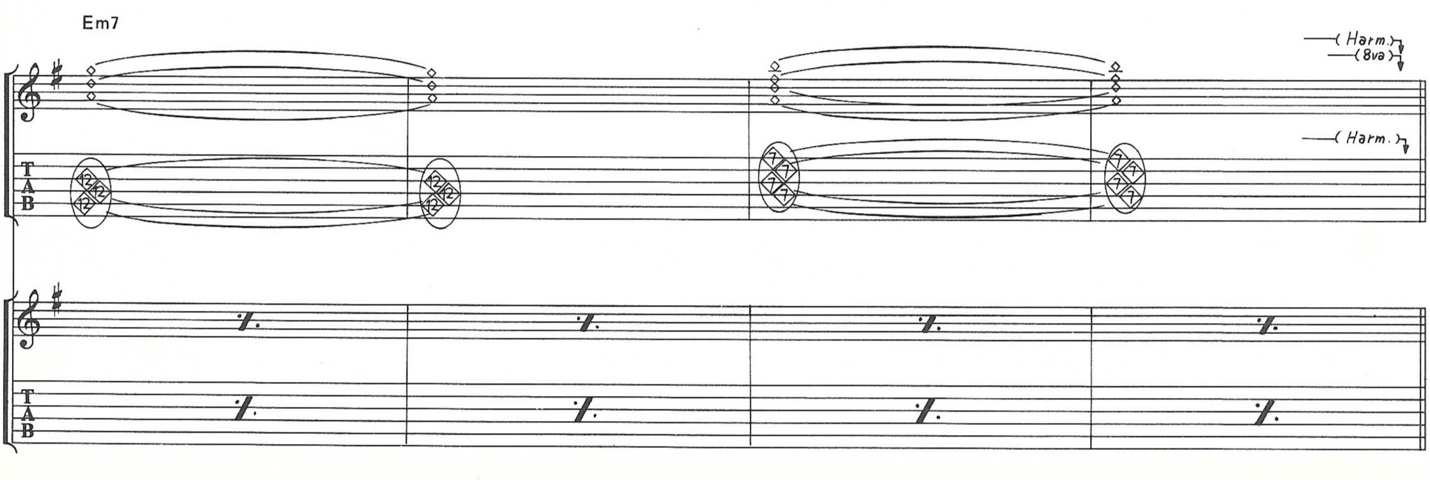
デザート・ソング

Words & Music by Michael Schenker and Graham Bonnett

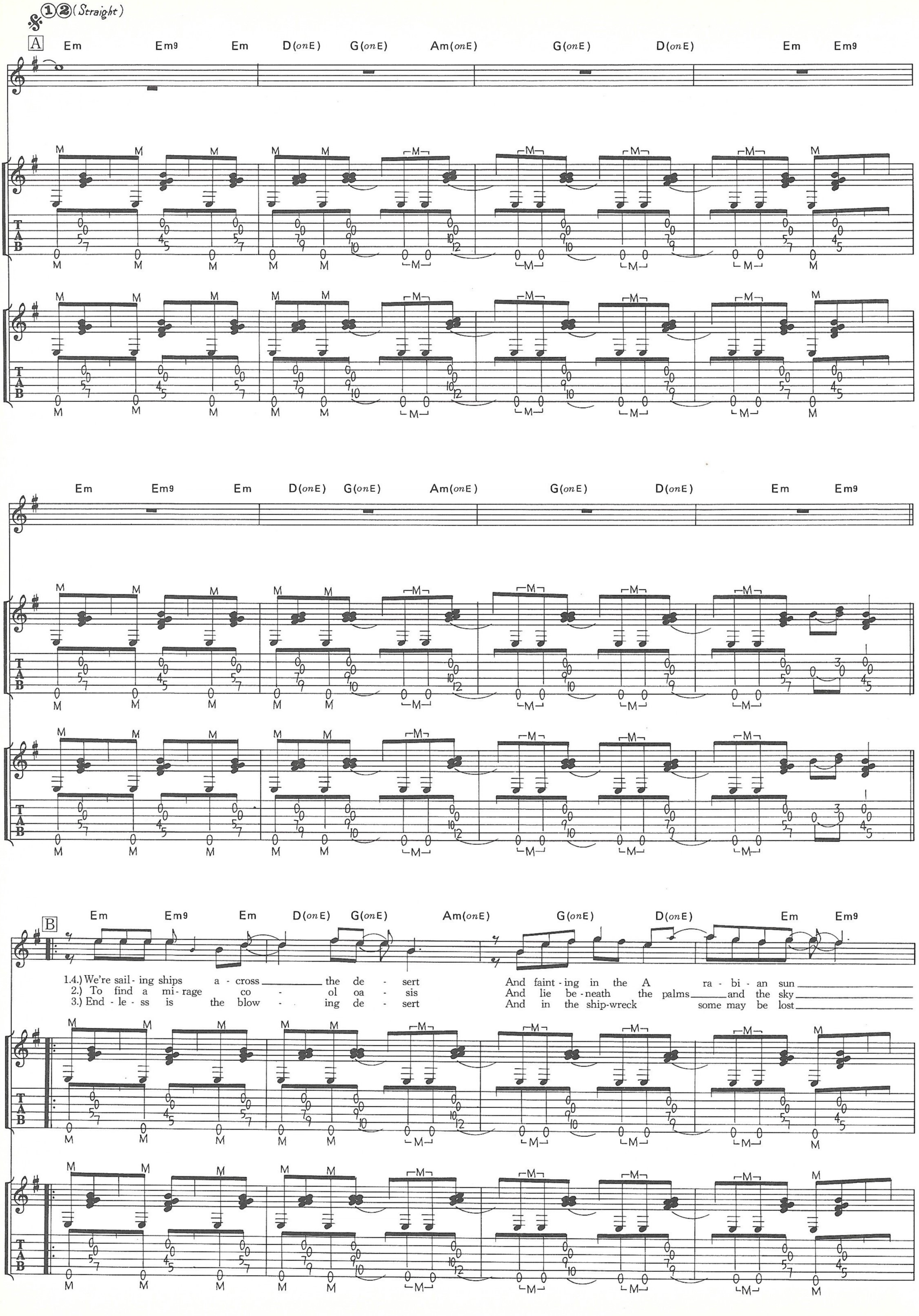
ミディアムテンポの８ビート。シンプルだが結構、奥が深い曲。まずイントロ１のギター１のパートだが、ハーモニクスをきれいにならせるようにしたい。サウンド的にはディレイを少々かけてやるとそれなりの雰囲気が出る。弦によってアタックのバラツキがないようバランスよく弾くとGood。ギター２のバッキングだが、いたってシンプルな８ビートのパターンである。すべてダウンピッキングで８分のウラに気を配って弾くと気持ちのいいバッキングができる。Aのバッキング（この曲のメインパターン）は歯切れよく軽快に弾くとカッコイイ。特にシンコペーションで入ってくる１小節目の４拍目ウラからのリズムをビシッとキメたいところ。中途半端にピッキングするとだらしなくなってしまうので注意！　ここも全部ダウンピッキングで。Bのパターンは Aと同様。リピート後は１カッコに入らず２カッコにストレートに進行。Cのアルペジオパターンはクリーンコーラスのかかったサウンド。音のバラツキに注意しよう。２、４、６、８小節目の３拍目ウラからのユニゾンはキメなのでリズムを外さないように。Dは今までのテンポを倍でとったような大きなリズムの変化があるが、しっかりリズムキープをしたい。ギターのメロディー、ハモリはゆったりとした雰囲気で、ハシリすぎないように。E Fは今までに出てきたパターンと同様に。Gは Fパターンの延長と考えていいが、キメのところはキチッと合わせたい。Hのソロは、ダブルチョーキングなどの音程をキッチリと注意して弾きたいところ。ハンマリング、プリングもハシッたり、もたったりしないように、また音量のバラツキにも気を付けて弾きたい。基本的にペンタトニックスケール中心の音の構成になっている。スピード感あるソロを決めたいところ。






Intro ②
Em9
Em
Em9
Em
Em9
Em9
Em
Em9
Em
Em9
Em9
Em
Em9
Em
Em9
Em9
Em
Em9
Em
Em9


①② (Straight)
A
Em Em9 Em D(onE) G(onE) Am(onE) G(onE) D(onE) Em Em9
T A B
B
1.4.) We're sail - ing ships a - cross the de - sert And faint - ing in the A - ra - bi - an sun
2.) To find a mi - rage co - ol oa - sis And lie be - neath the palms and the sky
3.) End - le - ss is the blow - ing de - sert And in the ship-wreck some may be lost


1.
Em Em9 Em D(onE) G(onE) Am(onE) G(onE) D(onE) Em Em9
You're stand - ing stance to watch the sun - set The wo - men scream as the ca - mels run
2.3.4.
Em Em9 Em D(onE) G(onE) Am(onE) G(onE) D(onE) Em Em9
And spend the night in the sil - ver moon set The ri - sing sun in the ea - gles eye
Too hot the sand too deep the o - ceans It's ju - st surviv - ing what - e ver the cost
You're stand - ing stance to watch the sun - set The wo - men scream as the ca - mels run
C
Em C#m Cmaj7 Em C#m Cmaj7
The keen of a du - sky la - dy Born on the sand
Arpeggio
Arpeggio


Em C#m Cmaj7 ①② to Φ Em C#m Cmaj7
Burn - in' with de - sert fi - re cool in the land
Arpeggio
D.S. ①
Φ Coda ①
Em C#m C
Cool in the land
Arpeggio
(Arp.)
D
C G C#m A


C
G
H.C D H.C
< Guitar 3 >
C#m
A
C
C#m
E
Em
Arpeggio
C#m
Cmaj7
Em
C#m
C#m
Cmaj7
Em
C#m
Cmaj7
Em
Arpeggio
C#m


C#m
F
Em7
Harm.
8va
(Harm.)
(8va)
G
Em
Em9
4
D.S. ②


Coda ②
Em C#m Cmaj7 Em C#m Cmaj7 Em C#m
Cool in the land
The keen of a du - sky la - dy
Born on the
Arpeggio
C#m Cmaj7 Em C#m Cmaj7 Em C#m Cmaj7
sand
Burn - in' with de - sert fi - re
Cool in Cool in the land
H
Em C#m C Em C#m C Em C#m
W.C
H D
P H P
C


C♯m Em C♯m C Em C♯m C
Em C♯m C Em C♯m C Em C♯m
C♯m C Em C♯m C Em C♯m C
Em C♯m Em C♯m
8va
rit.-

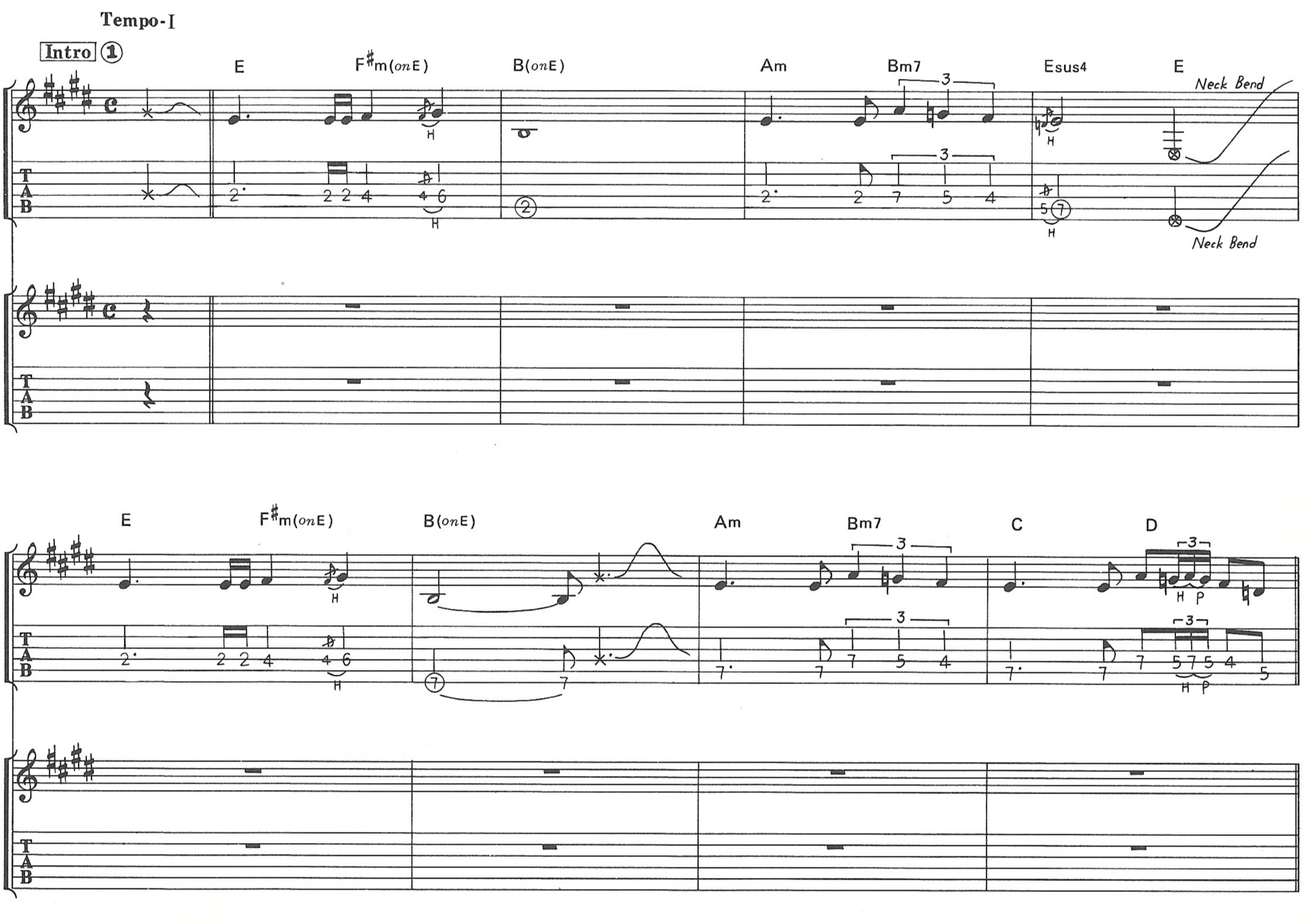
# ROCK MY NIGHTS AWAY

ロック・マイ・ナイツ・アウェイ

Words & Music by Gary Barden and Andy Nye

非常にスピード感があって気持ちよく演奏できそうな曲。コード進行もさほど難しくはなく、いきおいで演奏する（特にギターソロ）タイプの曲。やや複雑な譜面構成になっているが、核となるパターンは[A]と[B]である。その他もほぼ[A]と[B]の応用であると考えていいであろう。まずイントロ１は、ギター１本のみでメロディーを弾いているが、ハンマリングなどは元気よくプレイするといいだろう。ある音から次の音へいく時などにグリスなんかを何気なく入れるとGood。音色についても中音域にクセのある音になっていて（少しワウがかかっている）チューブアンプ独特の（マーシャル？）温かい音になっている。イントロ２の５小節目アタマの白玉もガーンと決めたい。イントロ３からはメインのバッキングパターン。ブリッジミュートをしてやるといいノリでプレイできる。ギター１と２がユニゾンなのでリズムを特に注意して演奏したい。歯切れのいいプレイを！　３、４小節目にでてくるシンコペーションとその直後にでてくる（４小節目の２拍目以降）ギター２の２拍目と３拍目。このメリハリをうまく出すことによって気持ちのいいグルーヴでプレイできる。[B]はなんてことはない白玉プレイだが、リズムに注意。[E]のギターソロはペンタトニックスケール。８分音符中心の構成だが、スピード感を殺さないようリズムにのって弾く。[F]からのギターソロもペンタトニックスケール中心である。ここからは40小節のソロが永遠に続くわけで、いかにリズムにのって（スピード感を持続して）プレイしていくかがポイント。とにかくマイケルになりきって元気よく演奏したい。






Tempo-II
Intro ②
E A(onE) B(onE) E A(onE) B(onE) C G D Dsus4 D
Feed Back
Feed Back
E A(onE) B(onE) E A(onE) B(onE) C G D Dsus4 D
𝄋①
Intro ③
E A(onE) B(onE) E A(onE) B(onE) C G D Dsus4 D
E A(onE) B(onE) E A(onE) B(onE) C G D A


A
(Straight 3x,4x)
E A(on E) B(on E) E A(on E) B(on E) C G D Dsus4 D
1.4.) She nev - er wants to hi - de from fire. no Got too much de - s - i - re
2.) She makes me feel a lit - tle spe - cial. yeah Nev - er keeps it to her - self
3.) The light-ening on - ly Struck me once but oh You can strike me a - ny - time
She's squeez - ing out the best in me. but oh I don't want to let her go
Real - ly does the things I like. oh oh
'Cos when I get you all alone. look out
1.
2.3.4.
I don't wan - na let her go
I won't ev - er let you go
I don't wan - na let her go
B
The more you give to me girl
The more I get to know you
The more you give to me girl


G D(onF♯) Em D C D
Day to day It's very hard To stay away
Your out of reach You've got me so I just can't sleep
Day to day It's very hard To stay away
E A(onE) B(onE) E C D
And when I'm sad and lonely
'Cos when I'm sad and lonely
'Cos when I'm sad and lonely
G D(onF♯) Em D ①② to Φ C D
Far from home who's gonna rock my nights away
From day to day
Far from home
D.S.①


Coda ①
C D C E A(onE) B(onE) E A(onE) B(onE) C G D
who's gon - na rock my nights a - way
Dsus4 D E A(onE) B(onE) E A(onE) B(onE) C G D A
D E F#m(onE) B
TAB


1.
Am
D
E
Neck Bend
Neck Bend
2.
Am
Bm7
C
D
E
E
8va
A(onE)
B(onE)
E
A(onE)
B(onE)
C
G
D
Dsus4
D
E
A(onE)
B(onE)
E
A(onE)
B(onE)
C
G
D
A
8va
D.S.


Coda ②
C
D
E
Who's gon - na rock my nights a - way
F
C
D
G
D(on F♯)
Em
D
8va
(8va)
H P
P.h
S




86




F.O.

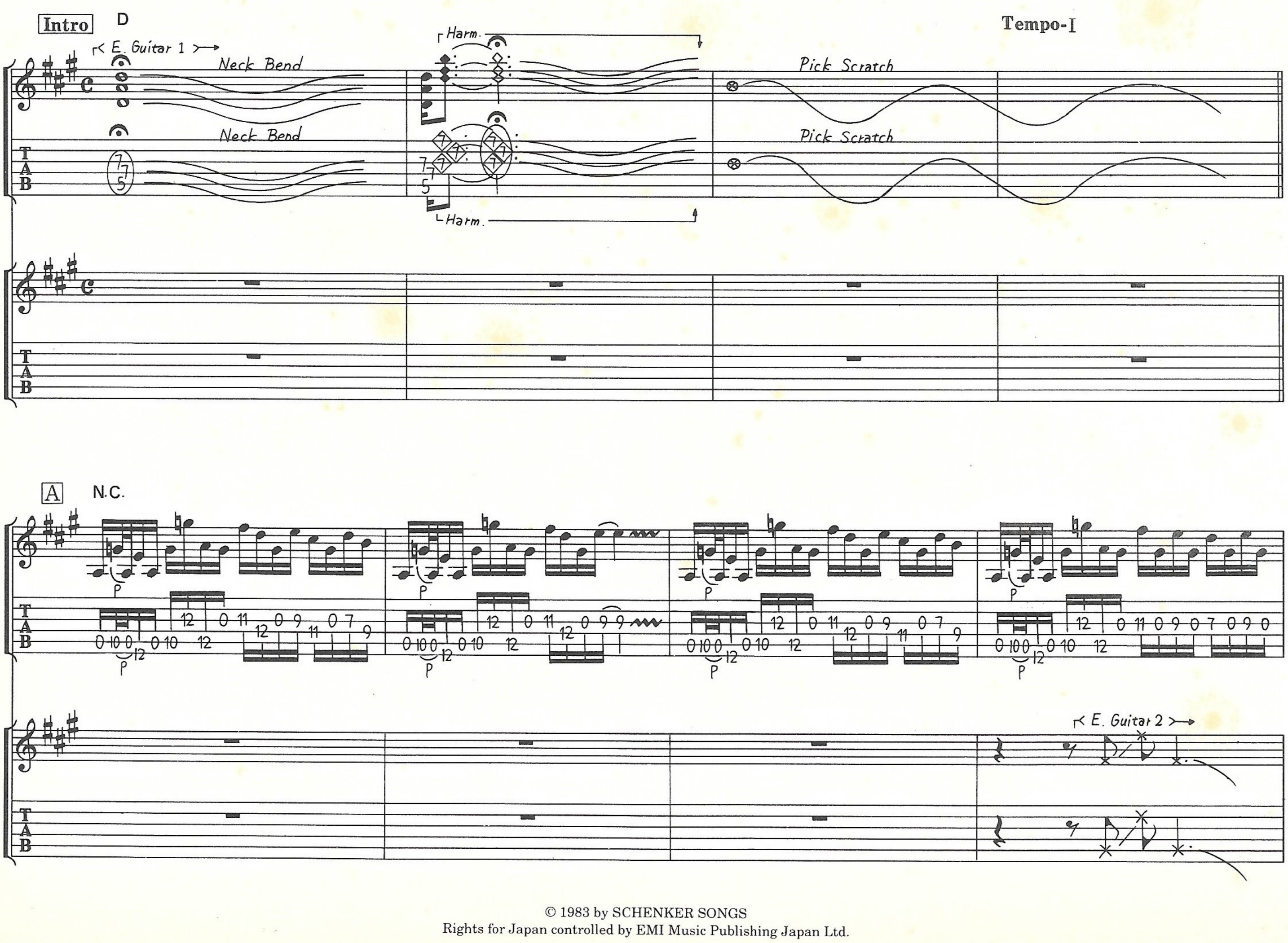
# CAPTAIN NEMO

キャプテン・ネモ

Music by Michael Schenker

「イントゥ・ジ・アリーナ」に並び、人気の高いインスト・ナンバー。スピーディーなギター・リフで始まり、ゆったりとしたリズムのエンディングに至るまでに、拍子が変化したりキーボードがフィーチュアされたりと、ストーリー性のある雄大な構成の曲だ。この曲が収録されている『限りなき戦い』のツアーでは、ライヴのオープニングを飾っていた。(この曲から「ロック・マイ・ナイツ・アウェイ」に続くアレンジは見事！）さて、この曲のハイライトは[A]のリフにあると言っても過言ではないだろう。開放弦を利用し、ハンマリングでスピード感を出している点がミソ。４弦の切れたギターを弾いているときにアイディアが浮かんだと言うだけあって、ピッキングが並大抵の難しさではないのだ。開放弦を巧みに使っているために音程差が大きくなっているが、左手の動きはそれほど苦にはならないだろう。開放弦をピッキングするときは確実に弦から指を浮かせ、そうでない時は余計な音が鳴らないよう、ミュートするようにしよう。このリフさえこなせれば、ギター・パートは半分以上できたも同然なので、気合いを入れて練習したい。もう一つの難所は[K]の7thコードの分散和音。こちらもピッキングが難しい。決して派手なテクニックは使っていないが、今でも毎日練習をしているというマイケルの基本的なテクニックの上手さを痛感してしまうところ。ここもゆっくりとしたテンポでじっくり練習してスピードを上げていく、地道な方法がオススメだ。リフとこのフレーズが出来るようになれば、完走も近いはずだ。






A
B
A
A
C
C


D
A
E
C
F
A
G
F♯
H
B
E
A
D
G
C
F
B♭
E♭
A♭
D♭
I
D
E
F♯m
D
E
F♯m


D E F#m D E F#m
J
D E F#m D E F#m
D E F#m D E F#m
K
B E A D G C A D
( )=E.Guitar 4
E.Guitar 2
( )=E.Guitar 3
with Bottle Neck
8va


B
E
rit.-
Tempo-II
L
A
F
A
F
A
D
B
E
M
A
F
A
F


A
D
B
E
N
A
F
A
F
A
D
B
E
E
A
8va
H.C
H.D
H.U
P
S
C
rit.-

Super Guitarist

# MICHAEL SCHENKER

ROCK BOTTOM

LIPSTICK TRACES

ONLY YOU CAN ROCK ME

DOCTOR, DOCTOR(LIVE)

LIGHTS OUT(LIVE)

LET IT ROLL(LIVE)

ARMED AND READY

CRY FOR THE NATIONS

INTO THE ARENA

DESERT SONG

ROCK MY NIGHTS AWAY

CAPTAIN NEMO

★定価2,472円(本体2,400円)

ISBN4-401-15334-0 C0073 P2472E